

平成26年度 学習指導改善調査 第4学年算数【採点基準】

以下のキーワード，または，同様のキーワードが必要。このキーワードをもとに，筋道立てて論述できていれば正答とする。

1 4年「表とグラフ」

小問番号	採点基準
1-① 数値の説明	7月にかりた絵本のさつ数 (同じ意味の説明であれば正答。)
1-② 表の数値の求め方	$26 + 31 + 40 + 32 = 129$ または、 $49 + 19 + 35 + 10 + 16 = 129$ (式が1本でなく分割されていても同意であれば正答。)
1-③ 表の数値	129
1-④ 表のグラフ化	㊂
1-⑤ 表のグラフ化	㊂
1-⑥ 表のグラフ化	㊂
1-⑦ 棒グラフの読み取り	A
1-⑧ 棒グラフの読み取り	C
1-⑨ 棒グラフのかき方 (目盛りのとり方)	解答例のとおり。グラフの縦軸の()に、下から「10」「20」の順に書いている。
1-⑩ 棒グラフのかき方 (項目の順序)	項目が種類の多い順に左から「物語」「図かん」「伝記」「絵本」「その他」と並んでいて正答。 ※完全正答
1-⑪ 棒グラフのかき方 (棒の正確さ)	棒が表す数値がそれぞれ、「物語 16」「図かん 12」「伝記 4」「絵本 2」「その他 6」となっていれば正答。 ※項目の並び順は問わない。

② 4年「三角形と円」

小問番号	採点基準
2-① 正三角形の作図条件	解答例のとおり
2-② 二等辺三角形の作図条件	解答例のとおり
2-③ 円の作図条件	解答例のとおり
2-④ 用語の利用	用語「中心」、「半径」、「交わった点」、及び、頂点「サ」、「シ」の記号を用いている。
2-⑤ 正三角形の作図の説明	コンパスを用いて交点を見つけること、交点スと頂点サ・頂点シをそれぞれと結ぶという内容が書かれていれば正答。
2-⑥ もよりの作図(中点)	直線カクの中点クを記述している。 ※「ク」の記述がなくても、中点をとっていれば正答。
2-⑦ もよりの作図(正三角形)	コンパスを使って、1辺4cmの正三角形を2つかくことができている。 コンパスを使用しているかは、交点を探すための円の一部が残っていることで確認する。 ※1mm程度の誤差は許容する。
2-⑧ もよりの作図(円)	正三角形のそれぞれの頂点を中心に、半径2cmの円を5つかいている。 ※1mm程度の誤差は許容する。 ※円が接していなくても許容する。